



(1) SB14 (北より)



(2) SB26 (北より)



(1) SZ 1 検出状況 (東より)



(2) SZ 1 完掘状況 (東より)



(3) SX36 (西より)



(1) 6区上層面全景（北より）



(2) 6区上層面全景（東より）



(1) SB9 (南より)



(2) SX38 (北より)



(1) 6区盛土土層断面（北より）



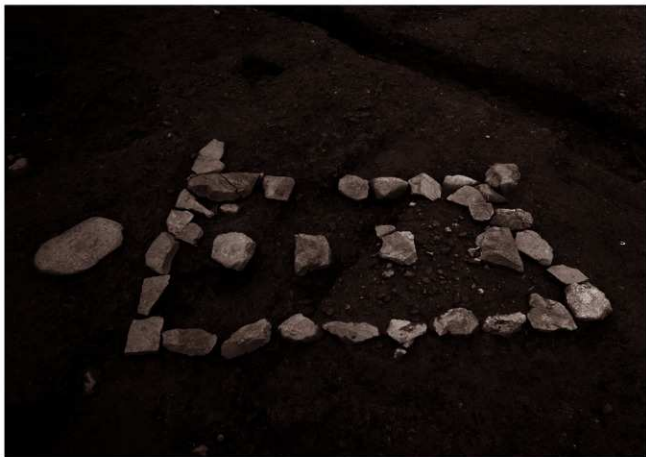
(2) 6・7区下層面全景（南より）



(1) SB23 (北より)



(2) SB22・SA2 (北より)



(1) S X39 (北西より)



(2) S K168人骨出土状況 (西より)



(1) SK52 (北より)



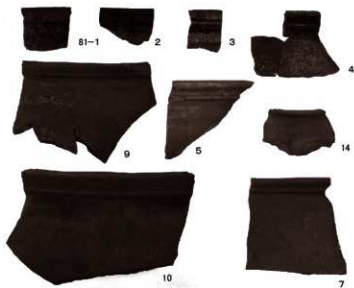
(2) SK52人骨出土状況 (東より)



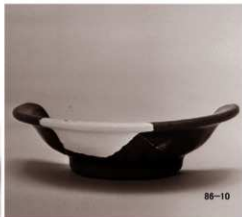
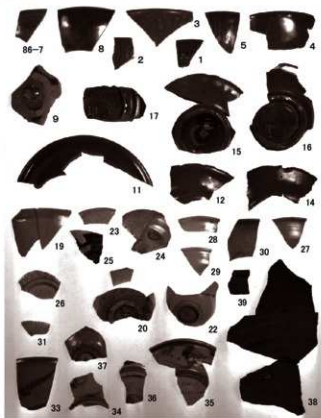
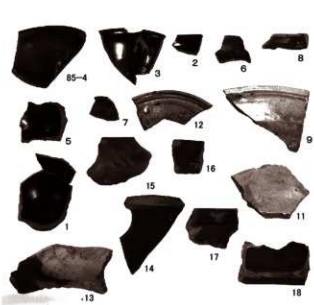
(1) 12区全景 (北より)

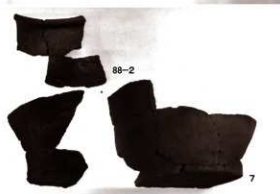
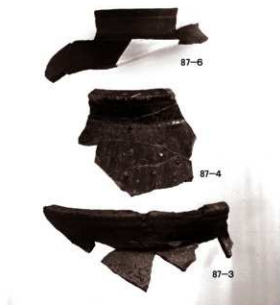


(2) S X 25 (北より)





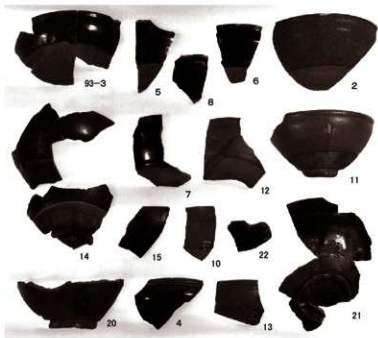


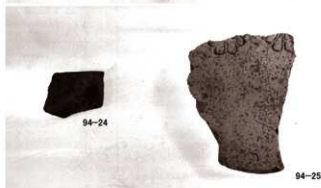
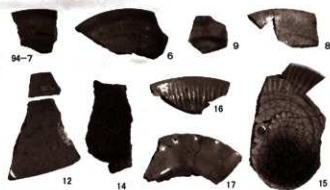


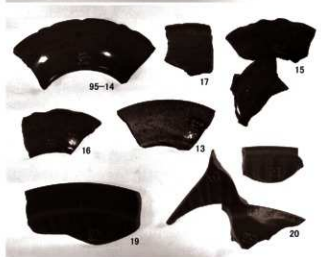
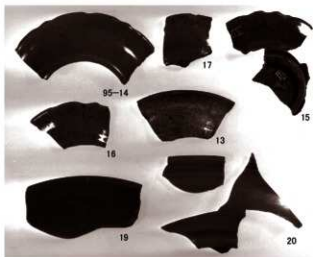


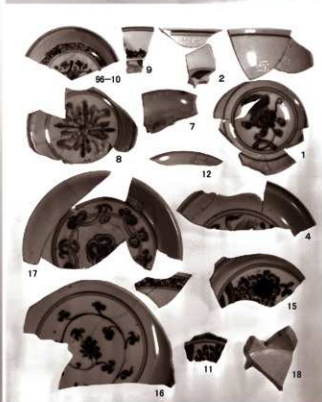
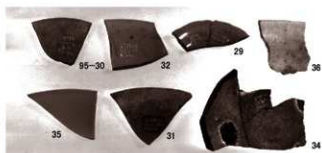
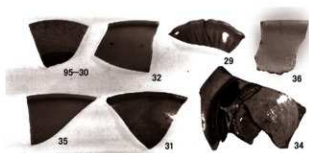








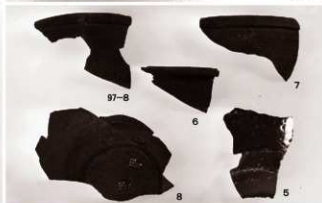




97-1



97-2



図版第四〇 遺物 石製品 (一)



98-1



98-2



98-3



4



5



6



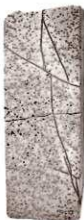
98-7



8



11



9



10



12



98-15



16



99-18



19



20



99-21



22



23



24



25



26



100-41



102-51



101-50



102-52



98-13



98-14



98-17



99-27



99-28



99-29



99-30



99-31



99-32



100-33



100-34



100-35



100-36



100-37



100-38



100-39



100-40



101-42(東面)



(南面)



(西面)



(北面)



101-43(東面)



(南面)



(西面)



(北面)



101-46(東面)



(南面)



(西面)



(北面)



101-47(東面)



(南面)



(西面)



(北面)



101-48
(東面)



(南面)



(西面)



101-49



101-44



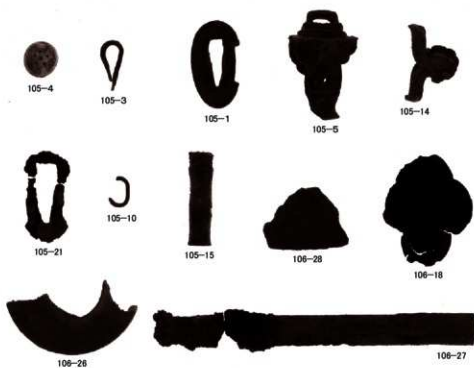
101-45



102-53



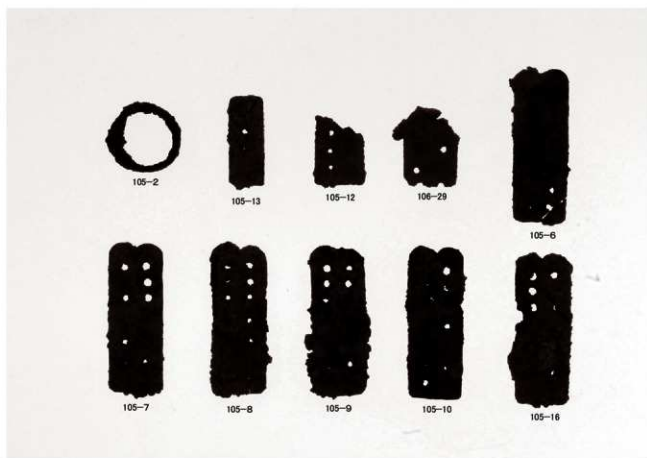
102-54



(1) 鹿角製駒・青銅製品



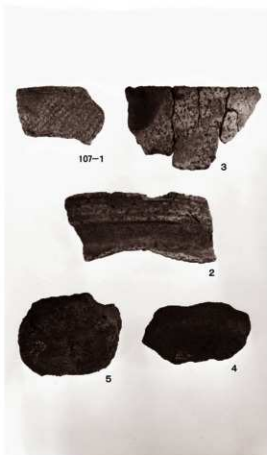
(2) 青銅製香炉蓋



(1) 武具



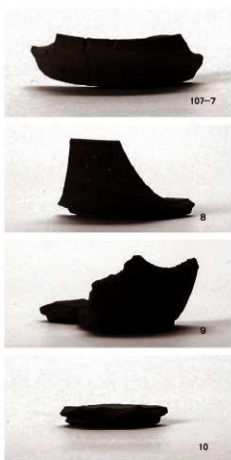
(2) 鉄釘など



(1) 縄文土器・弥生土器



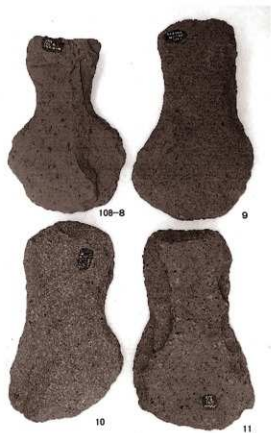
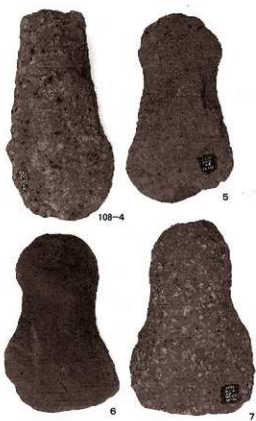
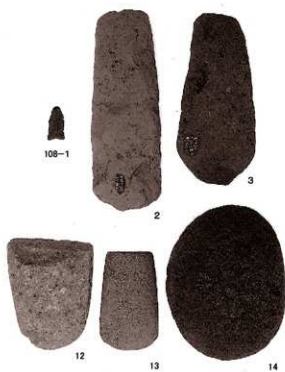
(2) 土師器甕



(3) 須恵器



(4) 須恵器





(1) 頭蓋骨上面



(2) 頭蓋骨正面



(3) 大腿骨



(4) 脛骨

報 告 書 抄 錄

ふりがな	おおつきまえやまいせき							
書名	大月前山遺跡							
副書名	中部縦貫自動車道建設事業に伴う調査10							
巻次								
シリーズ名	福井県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第119集							
編著者名	月輪 泰・宮崎 認・田中勝之・大敷由美子							
編集機関	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒910-2152 福井県福井市安波賀町4-10 TEL 0776-41-3644							
発行年月日	西暦2011年3月31日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	〃	〃		m ²	
おおつきまえやまいせき 大月前山遺跡	ふくいけん 福井県 よしだぐん 吉田郡 えいへいじちやう 永平寺町 おおつき 大月	18322	16034	36° 4′ 26″	136° 23′ 21″	20031001 ～ 20060630	21,500m ²	記録保存 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
大月前山遺跡	城館 社寺	室町時代 後期	礎石建物 掘立柱建物 土塁・堀 石垣 中世墓		中世土器 ・陶磁器 石製品 金属製品		15世紀後半から16世紀 後半にかけて営まれた、 館跡・寺院跡である。 一部、8世紀の遺構も検 出された。	
要約	九頭竜川左岸段丘上の山裾に位置する。「寺屋敷」の地籍や平泉寺末坊の伝承が残る。調査の結果、遺跡の東半は土塁と堀を伴う館跡、西半が墓域を伴う寺院跡であることが判明した。寺院跡は石積を多用して屋敷地を構成するなど、一乗谷朝倉氏遺跡や白山平泉寺遺跡などの都市的拠点以外の地方においても、同様の土木・建築技術が用いられていたことが明確になった。館跡は石敷倉庫を備え、文房具・武具を伴うことから、地方武家の存在が明らかになり、その生活の一端を知る手がかりを得た。							

福井県埋蔵文化財調査報告 第119集

大月前山遺跡

－中部縦貫自動車道建設事業に伴う調査 10－

平成23年3月14日 印刷

平成23年3月31日 発行

発行 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒910-2152 福井市安渡賀町4-10

印刷 株式会社リンクコーポレーション

〒910-0017 福井市文京1丁目18-15
